

2010年10月7日

皆さんの会社や地域なども、プロジェクトや企画が途中で行き詰まってしまった経験をお持ちでないだろうか。何が失敗の原因だったのだろうか。目的が明確でなかった、関係者のコミュニケーションが十分でなかった、体制が整っていなかった等々のさまざまな原因が考えられるだろう。では、成功するプロジェクトにはどのような要件が備わっているのだろうか。どのような技法を使えばプロジェクトは成功へと導かれるのだろうか。そのようなことを科学的に研究しながら発展してきたのが、「ファシリテーション」と呼ばれる手法である。

ファシリテーションとは、



平井 雅

論壇

簡単に言えば、人々の活動が円滑に運ぶように支援すること、問題解決や合意形成、企画立案、体験学習などを促進する手法のことをいう。また、そのような役割を担う人を「ファシリテーター」と呼んでいる。会議でいえば、メ

シヨンの邪魔をするのは、それぞれ立場や価値観の違い、「〇〇はこうあるべき」という思いこみ、慣れ親しんだ手法へのこだわりなどであることが多い。ファシリテーションでは、論理的思考やコミュニケーション的技法を織り交ぜながら、これらの認識をすり合わせ、論点を整理し、対立を解消させて合意を形成するよう促していく。

例えば、最初に目標や役割、進め方を全員で共有し、人間関係をスムーズにするような準備活動してからプロジェクトに取り組む。これは、チームビルディングと呼ばれる

組織変えるファシリテーション

会議成功のノウハウ

ンバーの積極的な参画を促し、プロセスのかじ取りをしなから、参加者が最大限の成果を上げられるように支援するのがファシリテーターだ。一般的に考えられるリーダーやコンサルタントともひと味違い、「助産師」のような役割を果たす。

普通、円滑なコミュニケーション

来とは違う視点、つまり強力なリーダーシップより個人の積極性と責任を重視して組織の力を高める。硬直化してしまった組織が時代の変化に対応するためには、個々の意識が変わり、集団の意識が変わることが求められている。その意味でもファシリテーションは時代の要請にかなっていると言えるだろう。

全国でこの手法の普及に努めているNPO法人日本ファシリテーション協会が、来る9日那覇にて基礎講座を開催する。組織変革の新たな可能性に触れられてみてはどうだろうか。問い合わせ☎090(1949)8888

(読谷村、日本ファシリテーション協会沖縄サロン世話人、44歳)

組織変えるファシリテーション

会議成功のノウハウ

平井 雅

皆さんの会社や地域などでも、プロジェクトや企画が途中で行き詰まってしまった経験をお持ちでないだろうか。何が失敗の原因だったのだろうか。目的が明確でなかった、関係者のコミュニケーションが十分でなかった、体制が整っていなかった等々のさまざまな原因が考えられるだろう。では、成功するプロジェクトにはどのような要件が備わっているのだろうか。どのような技法を使えばプロジェクトは成功へと導かれるのだろうか。そのようなことを科学的に研究しながら発展してきたのが、「ファシリテーション」と呼ばれる手法である。

ファシリテーションとは、簡単に言えば、人々の活動が円滑に運ぶように支援することで、問題解決や合意形成、企画立案、体験学習などを促進する手法のことをいう。また、そのような役割を担う人を「ファシリテーター」と呼んでいる。会議でいえば、メンバーの積極的な参画を促し、プロセスのかじ取りをしながら、参加者が最大限の成果を上げられるように支援するのがファシリテーターだ。一般的に考えられるリーダーやコンサルタントともひと味違い、「助産師」のような役割を果たす。

普通、円滑なコミュニケーションの邪魔をするのは、それぞれの立場や価値観の違い、「○○はこうあるべき」という思いこみ、慣れ親しんだ手法へのこだわりなどであることが多い。ファシリテーションでは、論理的思考やコーチング的手法を織り交ぜながら、これらの認識をすり合わせ、論点を整理し、対立を解消させて合意を形成するよう促していく。

例えば、最初に目標や役割、進め方を全員で共有し、人間関係をスムーズにするような準備活動をしてからプロジェクトに取り組む。これは、チームビルディングと呼ばれる手法だ。また、会議の中では、情報や認識を「共有」した上で考えを「発散」させ、方向性を「収束」させて「合意」を図る。これは、会議の中身でなくプロセスに着眼してかじ取りする手法である。

実際に沖縄でも離島での島おこしプロジェクトや、観光業界の意見集約といった現場でファシリテーションが応用され、成果を上げている。最近では、内閣府主催「アジア青年の家」において、アジア16カ国80名の高校生たちによる「水環境宣言」の作成を、4人のファシリテーターと16人のチューターたちが3週間にわたりファシリテートして、感動的な発表会を実現させた。

ファシリテーションは、従来とは違う視点、つまり強力なリーダーシップより個々の積極性と責任を重視して組織の力を高める。硬直化してしまった組織が時代の変化に対応するためには、個々の意識が変わり、集団の意識が変わることが求められている。その意味でもファシリテーションは時代の要請にかなっていると言えるだろう。

全国でこの手法の普及に努めているNPO法人日本ファシリテーション協会が、来る10月9日那覇にて基礎講座を開催する。組織変革の新たな可能性に触れられてみてはどうだろうか。

（読谷村・日本ファシリテーション協会沖縄サロン世話人・44歳）